

n.

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

自己評価報告書

令和元年5月1日現在

学校法人 高村育英会
国際デュアルビジネス専門学校

令和元年6月1日作成

目 次

本書の使い方	1	基準4 学修成果	25
1 学校の理念、教育目標	2	4-13 就職率	26
2 本年度の重点目標と達成計画	3	4-14 資格・免許の取得率	27
3 評価項目別取組状況	4	4-15 卒業生の社会的評価	28
基準1 教育理念・目的・育成人材像	5	基準5 学生支援	29
1-1 理念・目的・育成人材像	6	5-16 就職等進路	30
基準2 学校運営	8	5-17 中途退学への対応	31
2-2 運営方針	9	5-18 学生相談	32
2-3 事業計画	10	5-19 学生生活	34
2-4 運営組織	11	5-20 保護者との連携	36
2-5 人事・給与制度	13	5-21 卒業生・社会人	37
2-6 意思決定システム	14	基準6 教育環境	39
2-7 情報システム	15	6-22 施設・設備等	40
基準3 教育活動	16	6-23 学外実習、インターンシップ等	42
3-8 目標の設定	17	6-24 防災・安全管理	44
3-9 教育方法・評価等	18	基準7 学生の募集と受入れ	46
3-10 成績評価・単位認定等	21	7-25 学生募集活動	47
3-11 資格・免許取得の指導体制	22	7-26 入学選考	49
3-12 教員・教員組織	23	7-27 学納金	51

基準 8 財 務	5 2
8-28 財務基盤.....	5 3
8-29 予算・収支計画.....	5 5
8-30 監査.....	5 6
8-31 財務情報の公開.....	5 7
基準 9 法令等の遵守	5 8
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	5 9
9-33 個人情報保護.....	6 0
9-34 学校評価.....	6 1
9-35 教育情報の公開.....	6 3
基準 10 社会貢献・地域貢献	6 4
10-36 社会貢献・地域貢献.....	6 5
10-37 ボランティア活動.....	6 7
4 平成 28 年度重点目標達成についての自己評価	6 8

本書の使い方

- 1 本書は平成 25 年 3 月、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）に示された「項目別の自己評価表(例)イメージ」及び「自己評価における評価指標・観点・参考資料一覧表(イメージ案)」などを参考に全体を構成しました。
また、評価項目は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構(以下「機構」という。)がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を適用しています。
- 2 従来の「評価項目別取組状況」に「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」を加えることにより、ガイドラインに示されている PDCA を活用した自己評価を進めることができるようになっています。
- 3 ガイドラインでは、「項目別の自己評価表(例)イメージ」において取組状況を 1 から 4 の評語を用いて自己評定する様式を例示しています。このことから、本書でも「評価項目別取組状況」の小項目毎に評定欄を加えました。評語の考え方の例は、以下のとおりです。但し、評定については学校ごとの考え方により実施しない学校においては評定欄を削除してお使いください。

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

- 4 本書は、学校関係者評価を円滑に進めるために、記述のうち「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」など部分的にピックアップして評価を行うことができるように構成していますので、学校関係者評価実施においても活用できます。
- 5 本書はワード形式で作成しています。学校の考え方により適宜変更して使用してください。ご不明な点につきましては、機構事務局までお問い合わせください。

連絡先 03-3373-2914 info@hyouka.or.jp

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p>「人間教育」「実践教育」「国際教育」という3つの教育理念とそれにより「学生」「保護者」「社会」の3つの信頼の獲得を建学の理念としている。</p> <p>本校では「心からのおもてなし精神」を育み、社会の要請に応えうる人材の育成を目的としている。</p> <p>今後も将来にわたり一貫して、国際化時代に活躍できるスペシャリストの育成を目指している。</p> <p>このような理念・目的・育成人材像等を全職員が理解し、意識させるため、令和元年度事業計画の立案に参加させ、会議等で、周知徹底を図ってきている。</p>	<p>以下の三つを基本的な教育目標とする</p> <ol style="list-style-type: none">1 人間教育 どの業界、どの企業においても囑望されている人材として必要な、豊かな人間性そして人格の向上に重点を置いた教育システムにより人材育成にあたる。2 実践教育 どの業界、どの企業においても囑望される人材に必要な、知識と行動力を備えた人材育成にあたる。 その実現のため、企業との連携を図り、企業実習をカリキュラムに取り入れている。3 国際人教育 当校の INTERNATIONAL COLLEGE OF の冠名のとおり、日本を知り、世界を知る人々の融合の中で国際的センスを養う。

最終更新日付

2019年6月1日

記載責任者

谷口 久光

2 本年度の重点目標と達成計画

令和元年度重点目標	達成計画・取組方法
<ul style="list-style-type: none"> ・<学科廃止> 医療・医薬学科最後の卒業生を送り出し、学科廃止の手続きを行う。 ・<業務の見直し> 全員の仕事の洗い出しを行い、各課を越え仕事を推進し 更なる合理化を行う。横の連携を深める。 ・<学科の見直し> 2021年度に向けて学科の見直しを行い、カリキュラム改革に支障をきたしている 教室不足を解決する。(ホテル実習室) ・<学生満足度の向上> 学生の質向上に伴い、授業内容を見学を通して確認し 学生の声を反映できる顧客満足度の高い教科運営に取り組む。 ・<講師・カリキュラム> 講師面談を強化。授業内容は業界人である講師の意見を取り入れ 就職に直結するカリキュラム作成を更に刷新する。 ・<学生募集> ディズニー関連のホテルなど、知名度の高いホテルと連携した企業実習を構築するなど 商品力を考察し、日本人募集を回復させていく。 ・<就職強化> インターンシップ制度を活用し、 就職率だけでなく知名度のある就職実績へのレベルアップを図る。 	<p>学生募集目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人 20名・留学生 155名 合計 175名入学を実現。 ・<パンフレット> 2018年内に学生募集のパンフレットが12月に完成・納品。 (過去は翌年3月納品) ・<高校訪問> 遠隔地を見直し、首都圏に絞る。そしてWEB・SNSでの発信強化に重点を置く。 ・<媒体業者> 業者を1社に絞り、広報費のコストダウンに挑戦。 <p>教務目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<講師> 熱意溢れる授業運営を目標に、面談・打合せ回数を増やし連携強化。 ・<学生> 従来の学生管理体制を充実させ、学生に安心・安全な学校生活を提供する。 <p>就職目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人 就職内定率 100% ・ 留学生 就職内定率 100%

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>「人間教育」については、挨拶・整理整頓・清潔運動、校内美化、ボランティア活動の奨励などにより、社会人基礎力の向上を図っている。進歩はみられるが、留学生がさらに増加し、日本の習慣、マナーの習得などに重点を置いている。</p> <p>「実践教育」については、「企業実習」の充実により、実践的教育の向上を図っているが、実習先企業により、実習の内容、方法等が異なり、課題も多い。また、留学生の実習の方法、あり方に課題が多い。</p> <p>「国際教育」については、留学生の増加により、校内での国際交流は盛んになっている。</p> <p>留学生の増加に伴い、留学生が卒業後日本で就職するものも増加し、日本の労働力の国際化に貢献している。</p>	<p>ボランティア活動をさらに奨励し、社会貢献のできる人材を育成していく。</p> <p>留学生の企業実習を見直して行く。 実習先企業との連携を深め、「企業実習」と学校での「座学」の連動を図っていく。 カリキュラムの見直しを行い、より実践的な教育を行う。</p> <p>留学生が多いという本校の特徴を活かし、より国際的教育を行っていく。</p>	<p>留学生の増加</p> <p>留学生の有給企業実習の実施</p> <p>留学生の企業実習の見直し</p>

最終更新日付

2019年6月1日

記載責任者

谷口 久光

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程(学科)を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会の要請に的確に対応させるため、適宜見直しを行っているか	4 4 4 4 4 4 3 3	<p>学校案内、ホームページに明記し、周知徹底を図っている。</p>	<p>明確化されてはいるが、すべての教職員に浸透しているとは言えない。</p>	<p>職員会議、講師会他の会議、ミーティング等で浸透を図っていく。</p>	<p>学則、就業規則 学校案内 ホームページ</p>
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程(学科)毎に、関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程・授業計画(シラバス)等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか	4 4	<p>企業実習を実施して、適合を図っている。</p> <p>教育課程編成委員会を開催し協力を得ている。</p>	<p>企業実習先が限られ、実習先により、内容、時間数が異なる。 企業実習を途中で挫折してしまう者がいる。</p>	<p>企業実習先が限られているため、学科名にふさわしい実習先の開拓を行い、実習の有給化を図る。 教育課程編成委員会で業界関係者の意見を取り入れる。</p>	<p>教育課程表 シラバス 実習実施要項 教育課程編成委員会記録</p>

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)にかかわらず、教員採用において、関連業界等から協力を得ているか <input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	3 4 3	<p>実習に当たっては関連業界の協力を得ており、教育課程編成委員会において、外部委員の意見を聞いている。</p>	<p>関連業界との連携の強化、意見の反映。</p>	<p>教員採用、教材の開発に協力体制をとる。</p>	<p>教育課程編成委員会記録</p>
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4 4	<p>日本版デュアルシステム、職業実践専門課程により、企業実習重視のカリキュラム編成をしている。</p>	<p>実習内容が企業により異なっている。</p>	<p>職業実践専門課程の認定により充実を図り、有給企業実習の実施により、「やる気」を持たせる。</p>	<p>教育課程表 シラバス 実習実施要項</p>
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構想を定めているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	3 3 2	<p>ビジョン50の策定し、実現を図っている。</p>	<p>変化する社会情勢、ニーズに合った学校運営ができていない。</p>	<p>法人と校長を中心に検討を行い、ビジョン50の実現に向けての対応を図っていく。</p>	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校の理念は明確になっており、日本版デュアルシステム、職業実践専門課程による、企業実習を重視したカリキュラム編成を特徴としている。さらに企業実習からインターシップへ変革していき、関連業界との連携を深め、求められる人材育成に努めていく。</p>	<p>留学生の有給企業実習の実施している。 企業実習からインターシップへ</p>

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>留学生の増加は続いており、全学生数の92%を占め、初めて90%を超えた。入学試験の倍率は引き続き3倍を超え、学生の質は向上している。</p> <p>一方、日本人学生は8人が入学となり、危機的状況となった。</p> <p>学科編成は、国際観光学科、国際ホテル学科、の2学科となった。</p> <p>留学生の増加により学生総数は増え、学科編成の合理化により、財務体質は改善された。いかに日本人学生を増やすかが大きな課題である。</p>	<p>留学生が多いことを本校の強み、特徴とし、真のグローバルズムを身につけることのできる学校として、アピールしていく。</p> <p>インターシップの実践により、企業との連携を深め、就職に強い学校を実現していく。</p>	<p>留学生の増加。</p> <p>留学生の有給企業実習の実施。</p> <p>ボランティア活動の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅草消防署災害時支援ボランティアの継続

最終更新日付

2019年6月1日

記載責任者

谷口 久光

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか	4	運営方針は明確に定められている。 年度末に事業計画の策定と発表を行ない、年度初めに前年度の事業報告を発表している。	教職員一人一人に浸透しているとは言えない。	職員全員に浸透させるよう方針を単純化、明確化し、ミーティング、職員会議で周知し、その方針に沿って運営していく。	事業計画書 事業報告書
	<input type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針を明確にし、改革の意識を持たせ、具体化することにより実現している。	職員一人一人が自分で考え行動することを実践した。

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画（3～5年程度）を定めているか	4	中期計画は明確化されている。 単年度の事業計画は定められ、明確化されており、進捗管理、見直しの仕組みがある。	中期計画の遂行と管理。 事業計画の進捗管理、見直しを実施し、実現する。	中期計画の周知徹底。 進捗管理、見直しの実行。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 単年度事業計画を定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期、内容を明確にしているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期計画はビジョン50として明確になっている。 法人として事業計画の進捗管理、見直しの仕組みもできてきている。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は寄附行為に基づき適切に開催しているか <input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか <input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4 4 4	理事会、評議員会は適切に開催されており、議事録を備え、寄附行為は適切に改正されている。	適切である。	今後も適切に運営していく。	寄附行為 理事会議事録 評議員会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか <input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか <input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか <input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4 4 3 3 4 3 3	理事と校長により、随時校長会議を開催している。決済方法等も寄附行為に則っている。 就業規則により、諸規則は定められている。	規則、規定は整備されている。	必要に応じて改善する。	寄附行為 就業規則 組織図

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	3	事務職員の意欲、資質向上への取り組みとして、組織改革を実施している。	個々のモチベーションをいかにあげていくか。	適材適所補配置、評価の方法	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理事会、評議員会、校長会議は適切に開催されており、寄付行為も適切に定められている。</p> <p>また、就業規則も整備されている。事務職員の意欲、資質向上への取り組みは、組織改革、職務分掌の明確化により行っている。</p>	組織改革、職務分掌の明確化。

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	3	就業規則を基本に各分野の諸規則は整備済みである。	定期採用を行わず、適宜必要に応じて採用しているため、うまく採用できない場合がある。	適材適所の配置を行う。	就業規則 賃金規定
	<input type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就業規則、賃金規定は整備されているが、定期的な採用を行っていないため、適正な人材確保ができていないと言えない。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の事務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4 4 3	理事会、評議員会、法人本部、職員会議等により意思決定する。 その他稟議制度も整備されている。	意思決定システムは整備されているが、規則・規定等で明確になっていない部分がある。	方針を明確にし、意思決定を迅速に行う。	寄付行為 決裁権限

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは整備されており、直面している諸問題に対し、適切に意思決定できている。	部門別ミーティング、職員会議により、意思決定を速めている。

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> これらシステムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に（学生情報管理）システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4 3 3 3 4	1年前に学籍管理システムを入れ替えた。同時に学生募集に特化したシステムを導入した。	1年前に学籍管理システムと学生募集システムを入れ替えたため、運用に習熟しつつある。	各システムの有効活用を進めていく。	学籍管理システム 学生募集システム

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
1年前に学籍管理システムと学生募集に特化したシステムを導入することにより、学生の管理を充実させていく。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>目標の設定については、事業計画等により明確になっている。また、教育課程編成委員会の実施により、外部の意見も取り入れている。</p> <p>教育方法については、教育理念でもある、実践教育を実現するため、企業実習を重視している。</p> <p>授業の評価については、授業視察を実施し、教員との面談、学生アンケートを通じて、行っている。より効果的な授業運営に努めている。</p> <p>成績評価、単位認定については、学則に定め、厳格、公正に行っている。</p> <p>資格取得体制は、教育課程で明確になっており、指導体制は整っている。</p> <p>専門的知識、技能を持った教員を採用しているが、組織、研修体制は途上である。</p>	<p>企業との連携を強化し、より実践的な授業運営に努めていく。</p> <p>学生のニーズ、社会のニーズに合った授業内容、体制を整備していく。</p> <p>就職に強い学校創りを進めていく。</p>	

最終更新日付

2018年6月1日

記載責任者

渡部 夏奈

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	3 4	教育課程編成委員会と連携し、編成方針や職業教育について定期的に協議している。	コンセプトの文書化と方針の確立。	具体的な記述および委員会実施での定期的な見直し。	教育課程表
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4 3 3 3	目標に向けたカリキュラム編成。 教育理念に沿った学生仕上がり像とカリキュラムを構築。	レベルの向上 教育到達レベルの整備	レベル別クラス編成 習熟度の把握	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業教育に力点を置き、即戦力となりうる人材の育成に向けて、学校全体で取り組んでいく。	

最終更新日付

2019年6月1日

記載責任者

前原 優介

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか	4	専門・一般科目を適切に配分。	実習先企業によって、ばらつきがある。	実習先との連携を深める。	教育課程表 教育課程編成委員会議事録
	<input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか	3				
	<input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか	3	授業時間・単位数を明示。	講師とのコミュニケーション機会の不足	講師会・講師面談を数次実施。	
	<input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目、選択科目を適切に配分しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか	4	学科ごとに目標を定め、目標達成に向けてカリキュラム編成を変更。	シラバス内容の検証	授業内容・到達目標の見直しを図る。	
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	4	全講師にシラバス作成提出を義務付け、授業内容を管理している	講師面談		
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか	3				
<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、授業科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4	企業実習の実践。				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について、授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているかを <input type="checkbox"/> 教育課程は定期的に見直し改定を行っているか	4 3 3 3	学科ごとに講師会を開催し、カリキュラム内容を確認。 企業実習での内容と関連するようにシラバスを確認している	教育課程の定期的な見直し。	学習状況等を鑑み、見直しを定期的に行う。	シラバス 実習評価表
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3 3 3	実習先企業より、評価表を作成してもらっている。 評価委員会	効果測定 卒業生・企業担当者との交流	効果測定の実施 定期的に交流会を実施する。	実習評価表
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4 3	就職指導担当者との連携。 就職担当者と講師の連携。教育内容の構築。	アンケート	アンケートの実施 定期的な講師会の実施。	シラバス

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	□キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3	企業担当者・卒業生との面会時に意見交換。	効果測定	就職先・卒業生との交流、連携。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	□授業評価を実施する体制を整備しているか	3	授業見学、 授業担当者との面談。 アンケートの実施。	フィードバック。 アンケート内容の 確認、検証。	授業見学・巡回。 効果測定の実施。 学生面談による聴取。	
	□学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか	3				
	□授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか	3				
	□教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	3	授業内容を反映した 運営方針を講師会内で 説明。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
アンケート結果を踏まえ、授業内容にフィードバックし、より効果の高い授業運営の構築に努めていく。	

3-10 成績評価・単位認定等

最終更新日付

2019年6月1日

記載責任者

前原 優介

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4 4 3	<p>学則、学生便覧に明示。</p> <p>評価の方法については学生、及び講師に公示している。</p>	入学前の履修、他の教育機関の履修については明文化されていない。	規定の整備	学則 学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	学校で奨励しているコンテスト等は職員が引率している。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>成績評価の基準については公開しているので客観性・統一性を確保していると思う。</p> <p>他の教育機関の履修認定については規定の整備を進めていかなければならないと考えている。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	前原 優介
--------	-----------	-------	-------

3-11 資格・免許取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4 4	入学時のオリエンテーションで説明。 授業科目に導入している。	検定受験者の減少。	資格取得後のメリットなどを周知させる。 授業対象資格の見直し	シラバス 資格試験奨励制度
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4 3	試験前に強化対策授業等を実施。	卒業後の指導体制の未整備。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
受験者増加のための方策を考えなければならない。	

3-11 (1/1)

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	渡部 夏奈
--------	-----------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	□授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	3	履歴書、職務経歴書等により資格・資質・経験を把握。	資格・資質が不明瞭。	規定の明示。	履歴書 職務経歴書
	□授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	3				
	□教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	4				
	□教員採用等人材確保において、関連業界等との連携しているか	4				
	□教員の採用計画・配置計画を定めているか	3				
	□専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか	3				
	□教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	3				
	□教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資 質向上への取組 みを行っている か	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	3 3 3 2	職員研修の実施 講師との コミュニケーション 外部研修への参加	研修制度の不足。	関連業界との連携強化。 研修の充実 研修制度の確立	
3-12-3 教員の組 織体制を整備し ているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	3 3 3 3 3	専任・非常勤教員を交え 講師会を実施。 業務の分担は業務分掌 表を策定の上実施して いる。 カリキュラム編成にあ たっては教務・学生募 集・就職の意見を集約し 策定している。	連携・協力体制の不足。	教員組織の体制の整備。	

3-12 (2/2)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門的知識、技能を持った教員の確保に努めている。 研修制度の整備は不十分である。 教員組織の整備は途上である。	
最終更新日付	2019 月年 6 月 1 日
記載責任者	渡部 夏奈

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率については、日本人は 100%、留学生は 97%となりさらに向上した。また、ホテルや旅館の、求人数の増加傾向が続いている。</p> <p>引き続き、情報収集に努め、優良企業への就職を目指していく。留学生は日本語能力の向上に努め、就職率アップにつなげていく。</p> <p>資格取得については、資格そのものお見直しを行い、社会御ニーズに合った、カリキュラム編成を行っていく。</p> <p>卒業生の就職先企業へは、学校法人として訪問し、卒業生の評価、学校の評価を確認し、今後の企業連携、就職につなげていく。</p>	<p>企業との連携を深め、社会のニーズに合ったカリキュラム編成を行っていく。</p> <p>就職に強い学校づくりを進めていくため、資格取得にとらわれず、社会人基礎力の向上、語学力の強化に努めていく。</p> <p>卒業生の評価だけでなく、学校としての評価を上げるため、努力していく。</p>	

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか	4	就職率や、学生の状況の把握は従来通り良好。日本人は内定率100%、留学生は97%まで向上した。各種データも管理されている。 外国人留学生はベトナムに偏った国籍配分なので受け入れ先企業がビザに慎重になる。	毎年の課題だが、進路指導室の設置や、設備の充実化。求人票を貼るスペースが不足している。	校舎の教室配分や整備。	
	<input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率は日本人100%、留学生97%と向上した。留学生の求人数も増加傾向にあるが、国籍の偏りなど問題点も多い。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	3	受験人数、難易度によってゼミを実施。	指導方法の未整備。	指導方法の整備。	
	<input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援の取組はあるか	3				
	<input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか	3				
	<input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
指導体制の整備が急務。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	渡部 夏奈
--------	-----------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	□ 卒業生の就職先の企業・施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか	2	昨年度、会社訪問等 はしていない。	追跡調査が不十分。	卒業生等が気軽に連絡 が出来るシステム (SNS等)を構築し ていく。	
	□ 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	2				

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校法人として卒業生の就職先企業へ訪問し、卒業生、学校の評価を確認し、今後の企業連携、カリキュラム編成の参考にしている。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

基準5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職支援は、就職課を中心に行ってきたが、組織を改編し、就職担当と、担任、教務が連携して行っていく</p> <p>中途退学防止については、情報を共有し、個別面談の実施等により、未然に防ぐ努力をしている。しかし中途退学者はなかなか減少していない。</p> <p>学生相談は専門のカウンセラーは設置していないが、担任、教務が中心となり、職員全員で行っている。</p> <p>保護者との連携、卒業生、社会人との対応はできていない。</p>	<p>就職、中途退学防止、学生相談については、一体として考えるものであり、職員それぞれが、学生とのコミュニケーションをとることを心掛けなければならない。組織の改編を行い、マンネリを打破していく。</p> <p>担任による個人面談を年2回行っているが、就職においては、就職に関する面談、教務においては、出席不良、成績不良、学費等に関する面談を随時行っていく。</p>	

最終更新日付

2019年6月1日

記載責任者

谷口 久光

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか	3	1日の大半が授業で、個別指導含め、大人数の外国人留学生への就職指導、支援、時間調整に苦慮している。	別の業界の勉強や知識構築。 進路指導・相談室や面接室の設置。	企業研究 就職求人票の活用 学生指導法の確立	
	<input type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	4	また、説明会は校内校外共かなり盛況だった。			
	<input type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか	4	関連する業界とは、お互いの連絡は比較的うまくいっているが、邦人が観光・ホテル業界以外を希望する時期もあり指導に苦労した。			
	<input type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職等進路指導体制は整備されており、担任と、就職担当との連携も取れている。情報も共有されており、説明会も実施している。業界との連携もある程度できているが、個別相談に十分対応できていない。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	4	指導記録の保存。	心理面でのサポートが弱い。	カウンセラーを配置。	
	<input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか	4	問題を共有するためにデータの閲覧。			
	<input type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	3	個別面談で問題が深刻化する前に指導。			
	<input type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中途退学に関する情報は把握し、記録されている。個別面談を実施し、未然に防ぐ努力はしている。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	渡部 夏奈
--------	-----------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか <input type="checkbox"/> 卒業生からの相談について、適切に対応しているか	1 1 1 3 1 1	<p>定期的に個別面談を実施。</p> <p>相談記録の保存。</p>	<p>専任カウンセラーがない。</p> <p>医療機関との連携不足。</p>	カウンセラーの配置。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	3 4 4 4	<p>留学生の担当者を配置。面談の実施。</p> <p>就活の指導を授業及び個別で行っている。</p> <p>指導記録の保存。</p>	留学生担当者が不足。増加する留学生へのケア体制	専任の指導教員の配置。	学生指導記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専任カウンセラーの配置が急務。 留学生指導体制を強化する必要がある。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	渡部 夏奈
--------	-----------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4 3 3 3 3	奨学金制度の実施。 減免制度の実施。 学生支援機構等の公的支援制度の相談窓口を設置。	中途退学者への対応	保護者を含め、連絡先の把握	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	3 3 3 4 4	年1回、健康診断を実施。	保健室の整備。	保健室の充実化。	健康診断記録

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか	2 1 3	校医の配置。	健康に関する啓発。 カウンセラーの配置。	啓発活動の実施。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4 4 3	学生寮の設置。 寮規定の作成。 相談担当者の配置。 生活指導のオリエンテーションを実施。	寮生の相談担当者の時間的な配分。		学生寮規約
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	3 3 3	活動の把握に努める。 担当者の配置。	支援体制の充実。	時間的配分の調整。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
身体の状態の把握は、健康診断等で可能だが、心のケアについては課題。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	前原 優介
--------	-----------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	2	保護者の連絡先を把握。	保護者との連携不足。	保護者会の開催。文書等による、定期的な連絡。	
	<input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか	3	成績表、出席情報を送付。			
	<input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	2				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との交流・連携が充分とはいえない。担任制も活用し、コミュニケーションをこまめに保護者と取っていくことに努める。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	前原 優介
--------	-----------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	2 2 1 1	同窓会の設置。	卒業生との交流、動向調査。 校友課（担当者）の設置	SNS、ホームページ等を活用し、卒業生へ積極的に発信していく。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	3 2	職業実践専門課程の導入。	企業・業界団体等との連携強化。	卒業生も活用し、積極的な交流を実施していく。 教育課程編成委員会・会議・企業訪問などでの意見交換	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	2 2 2 3	個別相談の実施。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>同窓会の整備・構築を積極的に進めていく。 社会人の受け入れに関しては、社会人枠設定の必要性等、今後前向きに検討していく。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	前原 優介
--------	-----------	-------	-------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 30 年度はパソコン教室のパソコン 90 台を 93 台に更新した。また、液晶大型テレビ 1 セットを購入し、全教室に配置が終了した。</p> <p>教室の蛍光灯不良個所を LED 照明に更新した。</p> <p>6, 7, 8 階のブラインドをロールカーテンに更新した。</p> <p>教職員により、教室壁の塗装、掲示板の整備を行った。</p> <p>校舎の老朽化は否めないが、教育環境の整備は計画的に実施している。</p>	<p>施設整備に関し予算を組み、計画的に優先順位を決めて進めていく。</p>	<p>事業計画において設備投資計画を策定している。</p>

最終更新日付	2019 年 6 月 1 日	記載責任者	谷口 久光
--------	----------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	3	施設、設備、機器類等は老朽化が進んでいるが、計画的に整備している。 パソコン教室のパソコンを93台更新。 図書室はあるが、整備は不十分である。 学生の休憩室、食事をするスペースは確保されていない。 また、バリアフリー化は進んでいない。	図書室の整備 休憩室、食堂等のスペースがない。	優先順位を決め、計画的に進める必要がある。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	2				
	<input type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>パソコンの更新など着実に整備を進めているが、校舎自体の老朽化は否めない。 学生の増加により、スペースが足りない状況にある。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか	4 3 4 4 3 3 3 3	デュアルシステムの採用により、企業実習を実施しており、実習先企業との連携も取れている。 職業実践専門課程の認定により、留学生のインターンシップにも取り組んでいる。 インターンシップ受け入れ企業と方法を変え、有給実習や、夏季実習にも取り組んでいく。	実習先企業の確保 実習内容の企業による差をなくす。 給与体系も公平にしていきたい。 留学生インターンシップの実施方法、時期、期間、受け入れ先等を変えたことによる効果の分析が課題である。	業界団体、企業、官庁と連携を図り、実習先の確保、実施方法等を検討し推進していく。	実習実施要項 協定書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>デュアルシステムの採用により、企業実習を継続的に実施しており、企業との連携も取れている。給与や労働時間含めた、実習内容の充実が課題である。</p> <p>留学生のインターシップに取り組み、実習先、実習方法、時期等を変えたことによる効果の分析が課題である。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 学生、教職員に防災教育・研修を行っているか	3 2 4 4 3 3	防災に対する計画体制は整備されている。 防災設備の点検維持管理は適正に行っている。 防災訓練は定期的に実施している。 建物の耐震化はできていない。	校舎の耐震化工事	校舎の耐震化に向けて、計画を進めていく。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	2 2 2	計画、防犯体制、マニュアルが整備されていない。学内の安全管理体制は不十分である。	安全管理体制の整備	計画的に安全管理体制を整備していく。 防犯カメラの設置	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	3 2	危険物は特にない。担当教員は定めているが、学外での安全管理体制は外部にゆだねている。	危険物を持ち込ませない。	周知徹底	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>防災に対する体制は整備され、防災訓練も実施している。学外の安全管理体制は整備されていない。校舎の耐震化工事、安全管理体制の整備が課題である。</p>	<p>建築設備、消防設備の定期点検を実施 防災訓練を年1回実施。</p>

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>日本人の出願が激減した。日本人の募集方法をを 変更し出願増を目指したが、真逆の結果となった。 もはや根本的に考え方を変えないと事態は打開で きない状況である。一方留学生は、出願数がさらに 増え、厳格な入学試験により、質も向上した。 学生数の増加により、教室のやりくりが難しい状 況が生じている。</p>	<p>就職に強い学校づくりを進めていき、学校として の魅力をアピールすることで学生募集につなげて いく。</p> <p>留学生については、引き続き「選ばれる学校」と して、教育内容、学生サービスの充実を図り、募集 活動を続けていく。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	2 1 3	<p>高校生向けの進学説明会参加は入学実績・過去動員数を厳しく審査し、決定している。</p> <p>高校教員向け説明会は実施していない。</p> <p>生徒・保護者・教員向け「学校案内」冊子を配布している。</p>	<p>本校の強み・特徴を明確に提示し理解を得、他校との差別化を図る。</p> <p>本校の新しい取り組みや方針に対する理解を図り、選ばれる学校づくり・広報活動が必要と考える。</p>	<p>市場研究、情報収集を基に、これからの時代にあった学校づくりや情報告知・発進ツールの活用に努め、学校改革を進めていく。</p>	職員会議資料
7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4 4 4 4 4	<p>募集・広報に係る業務分掌を明確にし、適切な募集活動を行っている。</p> <p>学校説明会・個別見学・電話・メールに加え、QRコード・SNS活用で多様に情報提供を行い対応している。</p> <p>学校案内・募集要項・学校ホームページを一新し、分かり易い情報提供・告知を行っている。</p>	<p>学校訪問・校内ガイダンス・学校説明会の日程が重なる時期は、マンパワー不足に陥る。</p> <p>情報検索・収集・閲覧のし易さなど、効率よく利便性ある情報提供が必要。定期的な情報更新も必要と考える。</p> <p>收拾した情報・データを分析へ活用しきれていない。</p>	<p>募集・広報活動の優先順位に合わせた職員手配をし、計画的に無理なく達成していく。</p> <p>リアルタイムの情報提供、動画や写真公開でオープンに学校情報を伝えていく。</p> <p>媒体分析レポートを活用し、改善に取り組む。</p>	<p>学校案内 募集要項 学校ホームページ</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4 3	<p>過去動員数をもとに、開催日程（日時・開催数）を決定。</p> <p>書類・筆記・面接試験を総合的に審査する。企業実習希望者は実習先の面接も実施。</p>	<p>各回テーマを持った体験授業を実施し、入学意欲を高めてもらいたい。</p> <p>インターネット出願など新しい出願方法の導入の検討。</p>	<p>学校説明会の予約者数を増やすため、企画性ある内容（特に体験授業）を考え、学校ホームページやSNSにも周知徹底を図りたい。</p>	職員会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高校生の募集活動見直しを実施／活動エリアの変更（全国エリアから関東・甲信越エリアに一極集中）、業者媒体の選定、高校ガイダンス参加校の選定また SNS を活用する情報提供に力を入れる。</p> <p>留学生の募集活動は、例年と大きく変えず実施。学校説明会への参加を促す活動は続けていく。</p>	<p>学校法人高村育英会グループ校として、姉妹校と連携した募集活動を始める。</p>

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	大沼 由実代
--------	-----------	-------	--------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	3 4 4	<p>日本人はAO・推薦・一般の出願区分を設け、書類・筆記・面接審査で選考を行う。企業実習希望者は企業面接も実施。</p> <p>留学生は日本語能力・経費支弁能力・学習意欲を書類・筆記・面接審査で厳格に実施。</p>	<p>日本人・留学生共に選抜基準の適正性を図り、厳格な審査が必要と考える。</p> <p>特に留学生の書類審査においては、徹底した審査が必要と考える。</p>	<p>学校説明会や個別相談会での面談情報に加え、高校生については進路指導または担任教員からの情報収集もきめ細かに実施する。</p> <p>留学生の学校説明会参加を促す。本校をよく理解し受験を促す。</p>	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4 4 3 3	<p>入学選考や入学者のデータを蓄積・管理している。</p> <p>学生意見を募り、授業体制やカリキュラム改善に役立っている。</p> <p>ガイダンスや学校説明会接触者数から入学者見込みを算出している。</p> <p>日本人・留学生の学費関連を教務・財務と連携共有し整合性を図っている。</p>	<p>各課担当者間のデータ照合・共有を徹底し、一元管理する体制をとっている。</p> <p>市場研究も加え、より充実したカリキュラム作成に努める必要がある。また、入学後のフォローをきめ細かく行い、授業方法や内容に反映させていく必要がある。</p>	<p>学生情報管理システムを導入し、教務・財務・学生課における情報共有・管理体制の整備に努めているが、データ入力の正確さ、更新の徹底に努める必要がある。</p> <p>教務課との連携を強化し、入学者の動向やニーズ、市場調査を反映したカリキュラムを構築する。</p>	職員会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>入学選考は適切に実施されているが課題もある。日本人の出願傾向として AO 出願が一番多いが、書類と人物重視の審査だけでは不十分に感じる。入学後の学力や企業実習に向けての準備を入学前にも図る必要がある。留学生の入学選考は、書類・面接・筆記試験と厳格に実施するに加え、質のいい学生獲得するマンパワーのスキル向上も図る必要がある。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	大沼 由実代
--------	-----------	-------	--------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4 3 4	学納金の査定は適切に行われている。 募集要項に学納金を明示している。	学納金の提示や徴収に誤りがないようにする。	財務・教務と連携し適切に対処していく。	募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	適切に対処している。	入学辞退の場合の授業料返還について職員全員が共通理解をする。	情報共有に努め迅速に適切に対処していく。	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金については適正に算定され、適切に取り扱っている。	

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 30 年度は総学生数が 319 人となり、平成 29 年に比べ 6%増加した。学生数の増加とともに、多方面での合理化により、経費の削減が実現し、財務体質は大幅に好転した。</p> <p>令和元年になり、318 人と横ばいであるが、医療・医薬学科の廃止により、国際観光学科と国際ホテル学科の 2 学科体制となり、更に合理化が進んだ。これにより、財務条項はさらに好転する。</p> <p>予算の見直しを行い、適切な投資を行い、健全な学校運営を続けていく。</p>	<p>医療・医薬学科の廃止により、更に合理化を進める。</p> <p>日本人学生増加のため、適切な投資を行う。</p> <p>留学生の継続的な入学に向け、教育環境を整備していく。</p>	<p>医療・医薬学科を廃学科とし、国際観光学科、国際ホテル学科の 2 学科体制とする。</p>

最終更新日付	2019 年 6 月 1 日	記載責任者	谷口 久光
--------	----------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	4	学校、学校法人の中長期的財務基盤は安定している。	安定的学生の確保	中期計画を立て、学校運営改革を進める。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか	4				
	<input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか	4				
	<input type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか	4				
<input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4					
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか	4	財務分析を行っている。	財務分析の問題解消	改革の実行	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	3				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか <input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか <input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数值は適切な数值になっているか <input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか <input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	4 3 3 3 3	今後の財務改善計画を策定している。	財務改善計画の実施	改革の実行	事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的財務基盤は安定している。学生数の増加、学科の統廃合により、財務状況は改善した。さらなる改善を進めていく。	令和元年より国際観光学科、国際ホテル学科の2学科体制となる。

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	事業計画に沿った予算編成を行っている。	財務状況の改善	改革を進める。	事業計画書
		3				
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか	4	予算、計画に基づき、適正に執行されている。	財務状況の改善	改革を進める。	事業計画書
		3				
		3				
		3				
		3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>予算は計画に基づき編成され、適正に執行されている。学生数は留学生の増加により、横ばいとなった。さらに改革を進めていく。</p>	<p>留学生入学者数の継続的増加。</p>

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	□私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	適切に監査を行っている。	特になし	適切な監査を続けていく。	監査報告書
	□監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	4				
	□監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか	1				
	□監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
適切な監査を行っており、これを続けていく。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか	4	校内には掲示している。またホームページに掲載し公開している。	特になし	特になし	財務諸表 ホームページ
	<input type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校内の掲示板に掲示し、ホームページにも掲載して公開している。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令、専修学校設置基準の遵守は最優先で行っており、今後も続けていく。</p> <p>また、個人情報の管理も適正に行っている。</p> <p>自己点検・自己評価の体制は整っており、年度ごとに実施している。</p> <p>また、学校関係者評価も行っている。</p>	<p>個人情報の保護管理、情報漏洩対策を徹底させていく。</p> <p>自己評価の精度を向上させていくとともに、学校関係者評価を充実させていく。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目。	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	4	法令、専修学校設置基準を遵守し、就業規則に基づき、適正に学校運営を行っている。	コンプライアンス意識の徹底	研究、研修を行っている	就業規則
	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談受付窓口を設置しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令、専修学校設置基準を遵守し、就業規則に基づき、適正に学校運営を行っている。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	対策を実施している。	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	3	個人情報保護の対策を実施している。 学籍管理システムを刷新し情報漏洩対策を強化している。	情報漏洩対策が完全とは言えない。	教職員の意識の啓蒙を行っていく。	
	<input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学籍管理システムを刷新し、個人情報保護の対策を講じているが、完全とは言えない。教職員への指導を徹底していく。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	3	自己評価体制を整備し、実施している。	適正な評価 評価結果の活用	評価の活用を進めている。	自己評価報告書
	<input type="checkbox"/> 実施に係る組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか	3				
	<input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	3				
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか	4	報告書にまとめている。 ホームページでの公開している。	評価の精度	精度向上に努力していく	自己評価報告書
	<input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4				
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	3	学校関係者評価の体制を整備し実施している。	実施方法の検討。	実施体制の整備。	学校関係者評価報告書
	<input type="checkbox"/> 実施に際して組織体制を整備し、実施しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	3				
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか	4	報告書に取りまとめている。 ホームページに公開している。	学校関係者評価をいかに反映させるかが課題である。	事業計画に反映させる。	学校関係者評価報告書
	<input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>自己評価の体制は整備され、報告書にまとめており、ホームページで公開している。</p> <p>学校関係者評価は体制が整備され、実施し、報告書にまとめ、ホームページに公開している。</p> <p>これらの評価をいかに反映していくかが課題である。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開するための方法で公開しているか	4 3	学校概要、教育内容はホームページに公開している。	公開内容の検討	ホームページの更新	ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校情報をホームページに公開している。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会貢献、地域貢献、ボランティアについては、台東区役所、浅草消防署等と関係を深めており、卒業式には、台東区議会議員、並びに浅草消防署長の出席を得た。特に、浅草消防署の依頼により、災害時支援ボランティアとして、留学生数名が、隅田川花火大会、浅草サンバカーニバル、東京マラソンの警戒に参加し、学生が表彰を受けた。</p> <p>国際交流については、毎年、十数カ国からの留学生を迎え、就職、進学など、社会に送り出している。学校の教育理念でもある、「国際教育」を実践している。</p>	<p>社会貢献、地域貢献、ボランティアについては引き続き積極的に行っていく。浅草消防署の災害時支援ボランティアについては、オリエンテーション時に説明会を実施し、毎年十数名が登録している。</p> <p>留学生受け入れについては、引き続き積極的に行っていく。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input type="checkbox"/> 学生・教職員に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための教育、研修に取り組んでいるか	3 3 1 2 3 1 1 1 2	<p>台東区との連携を深めつつあり、卒業式に区議会議員の出席を得た。</p> <p>浅草消防署の依頼で留学生が災害時支援ボランティアに登録し、隅田川花火大会、浅草サンバカーニバル、東京マラソンの警戒に参加した。</p> <p>企業実習、授業等で連携を深めている。</p>	具体的方法を検討	産官学の連携に積極的に参加する。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいる か	□海外の教育機関との国際 交流の推進に関する方針を 定めているか	2	留学生の受け入れを積 極的に行っており、国際 交流を進めている。 海外の教育機関との連 携は取れていない。	留学生の国籍の変化 海外の教育機関との連 携方法 ニーズの変化	日本語能力の向上、ニー ズへの対応を進めてい く。 国内他校と連携して、が 海外教育機関との連携 を図る。	
	□海外の教育機関と教職員 の人事交流・共同研究等を行 っているか	2				
	□海外の教育機関と留学生 の受け入れ、派遣、研修の実施 など交流を行っているか	2				
	□留学生の受け入れのため、学 修成果、教育目標を明確化 し、体系的な教育課程の編成 に取り組んでいるか	3				
	□海外教育機関との人事交 流、研修の実施など、国際水 準の教育力の確保に向け取 組んでいるか	2				
	□留学生の受け入れを促進す るために学校が行う教育課 程、教育内容・方法等につい て国内外に積極的に情報発 信を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>台東区や浅草消防署との連携は、実現してきているが、さらに深めていきたい。企業実習やボランティア活動を行うことにより、専門教科目への実践的教育効果を上げていきたい。</p> <p>留学生の積極的受け入れにより、国際交流を進めていく。</p>	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	3 2 3 3 2	浅草消防署の依頼により、救急防災ボランティアに参加した。	ボランティア活動の内容と取り組み方法	積極的にかかわっている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
浅草消防署の依頼による災害時支援ボランティアに参加した。今後は介護分野にも参加していきたい、内容や方法を検討しながら実施してく。	

最終更新日付	2019年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

4 平成 30 年度重点目標達成についての自己評価

平成 28 年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>〈日本人〉入学者数の増加。</p> <p>〈留学生〉入学者数の増加、質の向上。</p> <p>〈退学者〉減少させる。</p> <p>〈講師〉大幅な入れ替え。</p> <p>〈就職〉就職率 100%。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・逆に大幅な減少となった。 ・高校生の就職率の向上、ホテル・観光業界への高校生の就職が容易となり、出願数の減少を招いた。 ・地方の学生の地元志向が強まった。 ・昨年を上回る入学者を獲得。 (148 人→166 人) ・厳格な入学審査により、質の高い学生を獲得できた。 ・中途退学者は横ばいだった。 ・3 分の 2 を入れ替え、授業魅力度の向上と講師給削減ができた。 ・日本人 100%、留学生 97%で、留学生は大幅に向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある学校づくり。 ・学生の声を反映し、満足度の高い教科運営に取り組む。 ・学生満足度の向上。学生管理の徹底。 ・就職に直結したカリキュラム作成。 ・インターシップの活用と、就職先レベルの向上。